

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年11月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。  
 実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。  
 なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。  
 （アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替  
 TEL：03-3283-7839  
 FAX：03-3213-8716  
 E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年11月15日～21日  
 ○調査対象：全国の417商工会議所が3096企業にヒアリング  
 （東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	474	253	53.4%	北海道	56.8%
製造	744	372	50.0%	東北	49.1%
卸売	334	188	56.3%	北陸信越	45.0%
小売	744	338	45.4%	関東	47.7%
サービス	800	374	46.8%	東海	46.3%
合計	3096	1525	49.2%	近畿	47.0%
				中国	47.3%
				四国	73.1%
				九州	46.4%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）  
 ※ DI値（景況判断指数）について  
 DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
 業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

―――【2012年11月調査結果のポイント】―――

業況DIは、ほぼ横ばいで推移。先行き不安は根強い

11月の全産業合計の業況DIは、▲31.1と、前月から+1.5ポイントの小幅改善。公共工事・住宅に動きのあった建設業や、冬物商品・ギフト関連が好調だった小売業がけん引。一方、製造業では中国経済の減速に加え、日中関係悪化に伴い、低迷が続いている。  
 先行きについては、先行き見通しDIが▲33.1（今月比▲2.0ポイント）と、悪化する見込み。このところの円安・株高傾向は好材料であるものの、中国経済の減速や日中関係悪化の長期化に伴う影響に加え、円高の定着、電力料金の値上げ、個人消費の減退など、中小企業を取り巻く厳しい状況が続く見込みであることから、先行きに対する不安は根強い。

ブロック・産業別業況D I（前年同月比：2012年11月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 31.1	▲ 17.9	▲ 37.6	▲ 26.1	▲ 39.9	▲ 27.9
北 海 道	▲ 28.2	▲ 29.0	▲ 19.2	▲ 26.1	▲ 50.0	▲ 20.9
東 北	▲ 20.7	10.0	▲ 52.0	▲ 42.9	▲ 20.0	▲ 10.3
北陸信越	▲ 39.0	▲ 31.0	▲ 46.4	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 51.4
関 東	▲ 25.1	▲ 11.9	▲ 31.6	▲ 21.4	▲ 29.3	▲ 26.0
東 海	▲ 21.0	▲ 3.8	▲ 25.4	▲ 15.8	▲ 57.6	▲ 2.0
近 畿	▲ 41.1	▲ 29.2	▲ 41.8	▲ 30.0	▲ 42.2	▲ 51.2
中 国	▲ 50.0	▲ 9.1	▲ 58.6	▲ 42.9	▲ 66.7	▲ 47.6
四 国	▲ 40.2	▲ 36.4	▲ 42.9	▲ 45.5	▲ 53.8	▲ 26.7
九 州	▲ 31.0	▲ 19.0	▲ 44.4	▲ 18.2	▲ 36.7	▲ 31.0

ブロック・産業別業況D I（先行き見通し：2012年12～2013年2月）  
 上段：2012年11月時点  
 下段：2011年11月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 33.1	▲ 25.1	▲ 37.4	▲ 26.1	▲ 42.4	▲ 29.4
北 海 道	▲ 31.5	▲ 34.7	▲ 30.2	▲ 27.7	▲ 33.7	▲ 30.5
東 北	▲ 37.6	▲ 41.9	▲ 53.8	▲ 30.4	▲ 61.5	▲ 14.0
北陸信越	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 28.6
関 東	▲ 26.1	0.0	▲ 36.0	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 41.4
東 海	▲ 19.3	4.5	▲ 26.7	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 45.5
近 畿	▲ 39.0	▲ 48.3	▲ 35.7	▲ 18.8	▲ 45.5	▲ 37.1
中 国	▲ 38.6	▲ 56.7	▲ 24.3	▲ 28.6	▲ 46.3	▲ 33.3
四 国	▲ 35.8	▲ 22.4	▲ 48.4	▲ 37.5	▲ 41.3	▲ 26.3
九 州	▲ 29.6	▲ 25.4	▲ 30.3	▲ 22.2	▲ 34.7	▲ 31.3
全 国	▲ 30.6	▲ 7.7	▲ 30.5	▲ 26.3	▲ 61.8	▲ 22.9
北 海 道	▲ 29.9	▲ 12.5	▲ 31.0	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 20.6
東 北	▲ 33.5	▲ 20.8	▲ 38.2	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 41.5
北陸信越	▲ 28.7	▲ 38.1	▲ 30.6	▲ 17.6	▲ 25.9	▲ 29.7
関 東	▲ 35.4	▲ 9.1	▲ 37.9	▲ 35.7	▲ 52.4	▲ 28.6
東 海	▲ 37.8	▲ 36.4	▲ 30.0	▲ 36.4	▲ 54.2	▲ 28.6
近 畿	▲ 34.2	▲ 22.7	▲ 25.0	▲ 36.4	▲ 46.2	▲ 40.0
中 国	▲ 33.6	▲ 55.0	▲ 28.6	0.0	▲ 34.5	▲ 32.1
四 国	▲ 19.4	▲ 38.1	▲ 11.1	9.1	▲ 30.0	▲ 24.1
九 州	▲ 38.3	▲ 58.3	▲ 32.3	▲ 61.5	▲ 33.3	▲ 26.5

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しD I（以下同じ）

産業別にみると、業況D Iは、製造業は悪化、サービス業はほぼ横ばい、その他の3業種は改善した。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「消費税増税前の駆け込み需要に伴う資材価格の高騰を懸念」（一般工事業）、「災害復旧工事の発注が開始され、業況は改善。先行きの見通しも良い」（建築工事業）、「慢性的な人手不足により、住宅工事の受注は見込めるものの、施工の対応ができない」（一般工事業）

【製造業】「自動車用ベアリング部品の受注が3割減を見込む。設備投資の中止や操業短縮を検討中」（ベアリング部品製造業）、「携帯電話の基地局アンテナ関連で受注があったものの、主力の半導体・液晶関連の落ち込みが激しい」（電気・精密機械製造業）、「原材料価格の下落により販売不振をカバーしている状況が続いており、先行きは不透明」（製紙業）

【卸売業】「好天が続く、キャベツなどの野菜が豊作だったことから、供給過剰の状態。単価が下がり、売上に響いている」（農産物卸売業）、「戸建て住宅関連の資材が好調で、売上が大きく伸びている」（製材卸売業）、「業況は好調に推移しているものの、12月から粉類の価格が上昇する見込み。取引先からの値下げ圧力が強く、価格転嫁が進まない」（製菓・製パン卸売業）

【小売業】「冬物衣料の売上が伸びており、食品も回復傾向。年末商戦に向けた対応も急務」（百貨店）、「消費者の低価格志向が強いほか、産地直送・ネット販売等との競合もあり、売上は減少傾向」（米穀類小売業）、「惣菜をはじめ、ターゲットを絞った商品開発や宣伝効果により、コンビニを利用する高齢者が増加。従来からの商店街の顧客が奪われている」（商店街）

【サービス業】「自動車メーカーの輸出不振・減産に伴い、物流量が減少している」（運送業）、「復興工事の現場作業員が、宿泊先の旅館から撤収しはじめている」（旅館業）、「システム投資の受注は増加傾向にあるが、人材が不足しており、恩恵は少ない」（システム開発）

【業況についての判断】

○ 11月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲31.1（前月比+1.5ポイント）と、小幅改善。産業別にみると、建設業では、災害対策などの公共工事のほか、消費税増税を見据えて住宅に動きが始めていることから改善。製造業は、中国経済の減速や、日中関係悪化に伴う輸出低迷、減産調整など、自動車関連の不振が広範に及んでいることからマイナス幅が拡大。卸売業は、一部原材料で、世界的な需要の減少に伴う価格低下により採算が改善したことなどからマイナス幅が縮小。小売業は、気温の低下により冬物衣料が好調だったほか、年末に向けたギフト関連の動きも活発になっていることから改善。

○ 向こう3カ月（12～2月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲33.1（今月比▲2.0ポイント）と、悪化する見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、冬季における公共・民間工事の鈍化が見込まれることなどから悪化。小売業、サービス業は、年末年始の商戦や忘年会、新年会シーズンを迎え、同業種間の価格競争が一層激化することが予想されることから悪化を見込む。製造業、卸売業は、中国経済や日中関係、国内消費の動向等、取り巻く環境に改善が見込めないことからほぼ横ばい。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲23.1（前月比+4.4ポイント）と、前月からマイナス幅は縮小。産業別にみると、建設業は、災害対策などの公共工事のほか、消費税増税を見据えて住宅に動きが始めていることから改善。卸売業は、公共工事や住宅関連資材、冬物商材が好調だったことからマイナス幅が縮小。小売業は、気温の低下により冬物衣料や食料品などが伸びたほか、年末に向けたギフト関連の動きも活発になっていることから改善。サービス業は、行楽シーズンを迎え、休日を中心に国内観光客が堅調だったことなどから改善。

○ 向こう3カ月（12～2月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲24.1（今月比▲1.0ポイント）と、ほぼ横ばいとなる見込み。

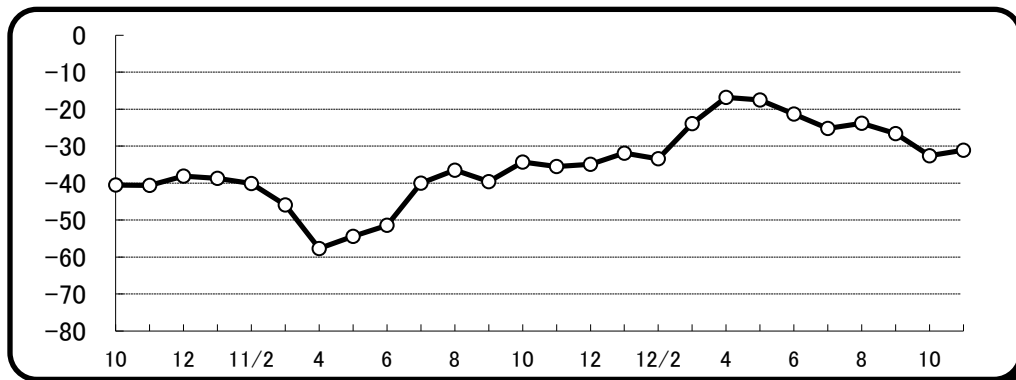
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、製造業は改善、卸売業、サービス業はほぼ横ばい、その他の2業種については悪化する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲21.3	▲25.2	▲23.8	▲26.6	▲32.6	▲31.1	▲33.1
建設	▲19.1	▲25.8	▲19.6	▲16.6	▲21.5	▲17.9	▲25.1
製造	▲13.7	▲18.1	▲21.9	▲27.8	▲33.8	▲37.6	▲37.4
卸売	▲14.5	▲23.6	▲27.3	▲19.3	▲29.1	▲26.1	▲26.1
小売	▲34.2	▲43.1	▲34.3	▲40.3	▲45.9	▲39.9	▲42.4
サービス	▲21.5	▲15.6	▲16.6	▲22.5	▲27.6	▲27.9	▲29.4

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

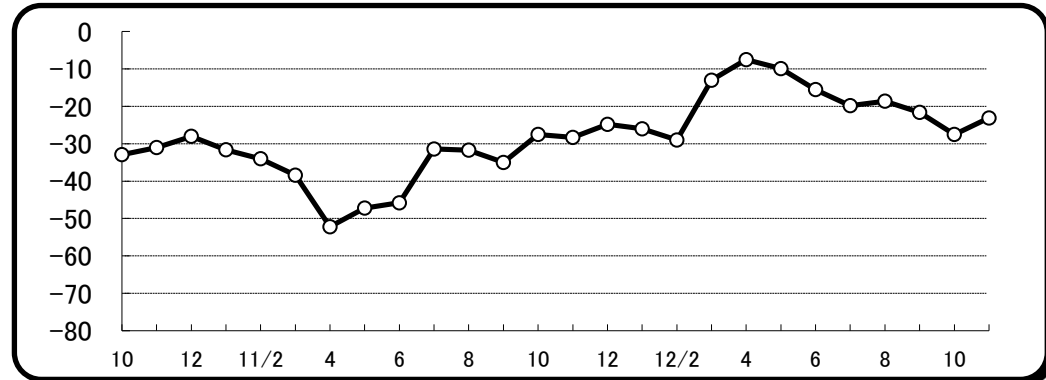
《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲15.5	▲19.8	▲18.6	▲21.6	▲27.5	▲23.1	▲24.1
建設	▲12.3	▲16.2	▲12.7	▲7.9	▲11.5	▲7.9	▲13.1
製造	▲7.5	▲13.0	▲17.5	▲25.5	▲30.3	▲30.5	▲28.3
卸売	▲9.5	▲20.7	▲17.8	▲17.4	▲26.9	▲19.7	▲20.7
小売	▲30.3	▲38.8	▲33.0	▲34.1	▲39.9	▲30.6	▲32.9
サービス	▲14.6	▲10.3	▲10.2	▲16.4	▲23.4	▲20.9	▲21.0

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算D Iは▲28.2（前月比+1.2ポイント）と、前月からマイナス幅は僅かに縮小。産業別にみると、建設業は、災害対策などの公共工事のほか、消費税増税を見据えた動きが出始めた住宅関連でも売上が伸びていることから改善。製造業は、日中関係悪化に伴う減産調整などに加え、輸出減少や国内需要の低迷による受注減などにより売上が伸び悩んでいることからマイナス幅が拡大。卸売業は、穀物等、一部原材料価格の下落に伴い仕入単価が低下していることなどからマイナス幅が縮小。小売業は、冬物衣料や年末に向けたギフト関連の売上が伸びていることから改善。

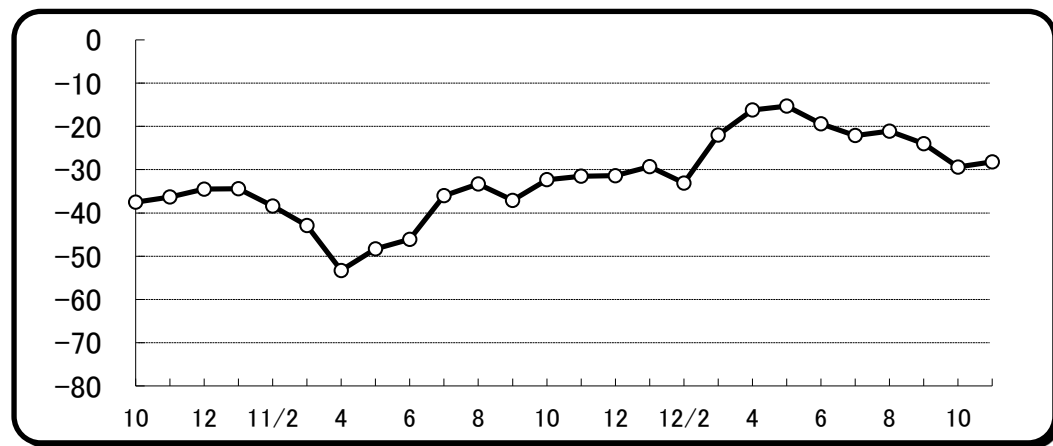
○ 向こう3カ月（12～2月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月比ベース）は▲28.9（今月比▲0.7）と、ほぼ横ばいを見込んでいる。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、卸売業は悪化、製造業は改善、その他の2業種はほぼ横ばいとなる見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲19.4	▲22.1	▲21.1	▲24.0	▲29.4	▲28.2	▲28.9
建設	▲22.8	▲23.5	▲22.4	▲17.0	▲25.3	▲23.5	▲27.5
製造	▲14.7	▲17.1	▲16.0	▲27.7	▲30.1	▲34.2	▲32.9
卸売	▲9.5	▲16.1	▲22.4	▲18.0	▲25.3	▲19.7	▲23.4
小売	▲28.3	▲35.3	▲33.0	▲31.4	▲36.9	▲33.2	▲32.8
サービス	▲18.6	▲16.4	▲13.6	▲20.3	▲25.9	▲25.1	▲25.1

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲12.7	▲13.0	▲11.2	▲14.3	▲15.9	▲17.3	▲18.7
建設	▲15.2	▲19.8	▲11.2	▲17.6	▲12.7	▲13.2	▲18.5
製造	▲7.0	▲9.7	▲9.4	▲12.9	▲14.1	▲18.6	▲22.2
卸売	▲4.5	▲4.1	▲8.6	▲10.6	▲14.4	▲12.2	▲13.3
小売	▲16.9	▲18.8	▲14.9	▲19.0	▲20.4	▲21.5	▲18.8
サービス	▲17.1	▲10.8	▲11.0	▲10.9	▲16.2	▲17.7	▲18.0

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲17.3と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業はほぼ横ばい、卸売業は改善、その他の3業種は悪化した。とりわけ、輸出減少や国内需要の低迷が続く製造業、コンビニ・大手専門店との顧客争奪や価格競争が激化している小売業で厳しい状況が続く。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみると、小売業は改善、サービス業はほぼ横ばい、その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲19.3	▲15.2	▲14.7	▲19.1	▲18.9	▲15.1	▲15.5
建設	▲25.5	▲26.2	▲23.5	▲25.1	▲29.6	▲24.8	▲21.6
製造	▲21.0	▲14.3	▲15.3	▲17.3	▲15.6	▲10.8	▲13.7
卸売	▲19.0	▲12.1	▲6.3	▲21.7	▲13.7	▲5.3	▲10.2
小売	▲11.4	▲7.8	▲10.6	▲13.9	▲13.4	▲12.8	▲14.9
サービス	▲21.3	▲17.9	▲16.2	▲20.7	▲22.9	▲19.9	▲16.3

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲15.1と、前月から改善。産業別にみると、小売業はほぼ横ばい、その他の4業種は改善。新興国経済の減速に伴い、穀物や鋼材、印刷用紙など一部原材料や素材の需要減少が続いているほか、国内では、好天により豊作となった野菜の価格が下落したことが要因。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、建設業、サービス業は改善、その他の3業種は悪化する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲0.3	▲0.8	1.6	▲0.2	▲0.5	0.3	0.6
建設	▲4.1	▲1.3	2.0	3.1	3.2	5.6	4.0
製造	▲0.2	▲3.3	▲5.2	▲9.5	▲8.8	▲9.7	▲8.4
卸売	▲7.8	▲5.7	▲3.4	▲6.8	▲4.6	▲7.4	▲3.2
小売	1.6	▲0.8	4.0	3.6	1.9	4.8	4.8
サービス	4.0	4.5	9.1	6.6	5.3	6.7	5.4

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは0.3と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、製造業はほぼ横ばい、卸売業は人手過剰感が強まり、その他の3業種は人手不足感が強まった。人手不足となっている建設業、小売業、サービス業では、採用募集をしても応募が少ないという声が多いほか、受注・売上が堅調な企業においても、先行きの不透明感から新規採用を抑制していることが背景。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ、ほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、小売業は横ばい、建設業、サービス業は人手不足感が弱まり、製造業、卸売業は人手過剰感が弱まる見込み。

## 2012年11月

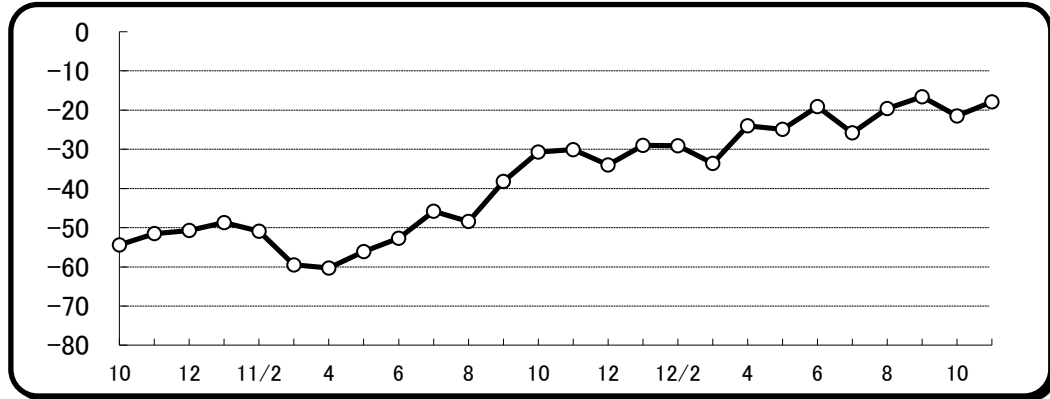
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-23.1	-24.1	-28.2	-28.9	-17.3	-18.7	-15.1	-15.5	0.3	0.6	-31.1	-33.1
北海道	-22.7	-28.7	-22.1	-30.2	-6.7	-10.7	-16.1	-19.5	8.7	-1.3	-28.2	-37.6
東北	-20.7	-25.2	-28.8	-28.8	-5.4	-14.5	-24.3	-20.7	7.2	8.1	-20.7	-26.1
北陸信越	-29.8	-31.2	-33.3	-39.0	-26.2	-22.1	-17.0	-17.0	-2.2	-3.6	-39.0	-39.0
関東	-20.1	-26.4	-26.5	-30.1	-16.7	-23.0	-14.6	-18.1	1.5	1.0	-25.1	-35.8
東海	-7.0	-18.8	-19.8	-27.6	-13.7	-20.9	-12.0	-16.9	4.3	4.3	-21.0	-30.6
近畿	-31.7	-23.5	-35.0	-26.2	-24.9	-15.6	-13.1	-4.4	-3.3	1.1	-41.1	-33.5
中国	-43.3	-26.8	-34.0	-23.7	-32.3	-27.1	-6.3	-8.3	-19.6	-10.3	-50.0	-35.4
四国	-31.6	-23.1	-35.9	-31.9	-17.1	-13.7	-21.4	-19.7	-4.3	-0.9	-40.2	-34.2
九州	-15.5	-10.1	-25.6	-19.4	-15.6	-14.1	-14.0	-11.6	2.3	3.1	-31.0	-19.4
建設												
全国	-7.9	-13.1	-23.5	-27.5	-13.2	-18.5	-24.8	-21.6	5.6	4.0	-17.9	-25.1
北海道	-25.0	-34.4	-29.0	-35.5	-3.2	-9.7	-29.0	-19.4	9.7	-3.2	-29.0	-41.9
東北	40.0	25.0	-5.0	0.0	10.0	0.0	-50.0	-45.0	30.0	25.0	10.0	0.0
北陸信越	-37.9	-41.4	-37.9	-44.8	-24.1	-31.0	-20.7	-31.0	-3.4	-20.7	-31.0	-48.3
関東	-4.5	-9.0	-25.4	-25.4	-15.2	-24.2	-21.2	-24.2	0.0	10.6	-11.9	-22.4
東海	15.4	23.1	3.8	-3.8	-11.5	-4.0	-26.9	-30.8	11.5	23.1	-3.8	-7.7
近畿	-16.7	-16.7	-25.0	-33.3	-20.8	-26.1	-25.0	-4.2	4.2	0.0	-29.2	-20.8
中国	0.0	-9.1	0.0	18.2	-18.2	-9.1	-18.2	-9.1	18.2	0.0	-9.1	-9.1
四国	-22.7	-27.3	-31.8	-50.0	-22.7	-22.7	-22.7	-13.6	0.0	0.0	-36.4	-22.7
九州	-4.8	-19.0	-42.9	-47.6	-9.5	-23.8	-14.3	-4.8	0.0	-4.8	-19.0	-38.1
製造												
全国	-30.5	-28.3	-34.2	-32.9	-18.6	-22.2	-10.8	-13.7	-9.7	-8.4	-37.6	-37.4
北海道	-11.5	-30.8	-7.7	-42.3	3.8	-15.4	-3.8	-15.4	7.7	-7.7	-19.2	-53.8
東北	-64.0	-44.0	-72.0	-48.0	-12.0	-28.0	-28.0	-32.0	-4.0	0.0	-52.0	-36.0
北陸信越	-42.9	-25.0	-50.0	-35.7	-35.7	-21.4	-10.7	-7.1	-14.3	-7.1	-46.4	-35.7
関東	-25.3	-42.1	-33.7	-43.2	-15.8	-27.7	-13.7	-12.6	-9.5	-11.6	-31.6	-48.4
東海	-23.7	-22.0	-28.8	-27.1	-18.6	-25.4	0.0	-11.9	-12.1	-10.3	-25.4	-30.5
近畿	-27.8	-22.2	-27.8	-24.1	-20.4	-16.7	-9.1	-10.9	-12.7	-1.9	-41.8	-38.2
中国	-37.9	-37.9	-27.6	-31.0	-34.5	-31.0	3.4	-3.4	-24.1	-20.7	-58.6	-37.9
四国	-39.3	-3.6	-39.3	-17.9	-17.9	-10.7	-17.9	-21.4	0.0	0.0	-42.9	-25.0
九州	-25.9	-7.4	-37.0	-18.5	-18.5	-11.1	-25.9	-18.5	-11.1	-11.1	-44.4	-11.1

## 2012年11月

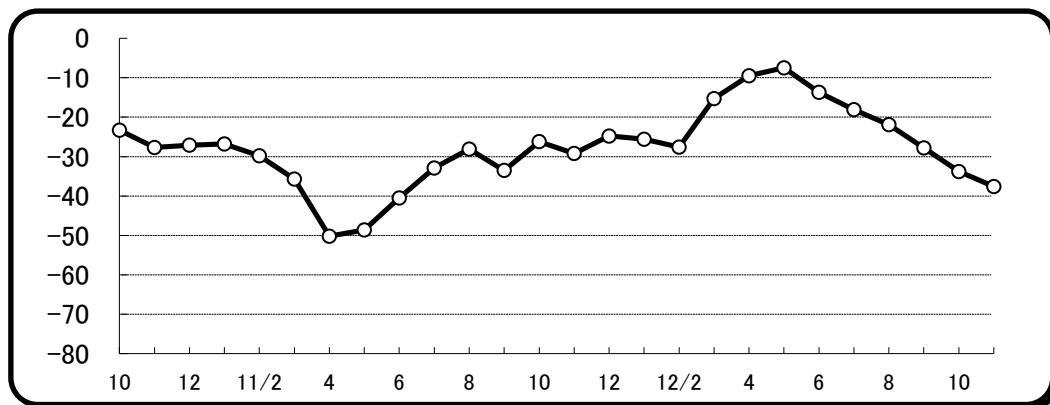
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-19.7	-20.7	-19.7	-23.4	-12.2	-13.3	-5.3	-10.2	-7.4	-3.2	-26.1	-26.1
北海道	-21.7	-30.4	-17.4	-26.1	-4.3	-13.0	-13.0	-17.4	8.7	-4.3	-26.1	-30.4
東北	-42.9	-28.6	-28.6	-28.6	0.0	-14.3	-28.6	-28.6	-14.3	-14.3	-42.9	-28.6
北陸信越	-6.3	-25.0	-6.3	-43.8	-18.8	-18.8	-25.0	0.0	6.3	6.3	-25.0	-18.8
関東	-12.5	-23.2	-21.4	-23.2	-8.9	-14.3	0.0	-18.2	-7.1	-7.1	-21.4	-37.5
東海	0.0	-26.3	-21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-5.3	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	-26.3
近畿	-45.0	-25.0	-20.0	-5.0	-20.0	-5.0	0.0	10.0	-25.0	-5.0	-30.0	-20.0
中国	-50.0	-28.6	-21.4	-35.7	-35.7	-28.6	21.4	7.1	-21.4	-7.1	-42.9	-35.7
四国	-36.4	-9.1	-54.5	-27.3	-9.1	-9.1	-9.1	-18.2	-18.2	0.0	-45.5	-36.4
九州	-4.5	9.1	-4.5	4.5	-9.1	-4.5	-9.1	-4.5	-4.5	9.1	-18.2	9.1
小売												
全国	-30.6	-32.9	-33.2	-32.8	-21.5	-18.8	-12.8	-14.9	4.8	4.8	-39.9	-42.4
北海道	-38.5	-53.8	-34.6	-50.0	-19.2	-23.1	-11.5	-30.8	7.7	0.0	-50.0	-61.5
東北	-23.3	-20.0	-26.7	-26.7	-13.3	-10.0	0.0	-3.3	3.3	10.0	-20.0	-20.0
北陸信越	-21.2	-30.3	-24.2	-30.3	-12.1	-12.5	-12.1	-15.2	0.0	0.0	-33.3	-45.5
関東	-28.3	-28.3	-25.0	-26.1	-20.9	-22.0	-12.0	-18.5	11.1	7.8	-29.3	-41.3
東海	-29.4	-58.8	-44.1	-57.6	-25.0	-31.3	-14.7	-20.6	20.6	12.1	-57.6	-61.8
近畿	-38.6	-29.5	-43.2	-31.8	-30.2	-11.6	-14.0	2.3	0.0	2.3	-42.2	-33.3
中国	-54.5	-31.8	-54.5	-31.8	-38.1	-42.9	-4.8	-4.8	-40.9	-13.6	-66.7	-52.4
四国	-26.9	-34.6	-34.6	-32.0	-19.2	-11.5	-38.5	-30.8	3.8	7.7	-53.8	-46.2
九州	-23.3	-20.0	-30.0	-23.3	-17.2	-6.9	-10.0	-13.3	13.3	6.7	-36.7	-30.0
サービス												
全国	-20.9	-21.0	-25.1	-25.1	-17.7	-18.0	-19.9	-16.3	6.7	5.4	-27.9	-29.4
北海道	-18.6	-7.0	-20.9	-9.3	-9.3	0.0	-18.6	-16.3	9.3	4.7	-20.9	-14.0
東北	-17.2	-48.3	-10.3	-34.5	-3.4	-17.9	-27.6	-10.3	10.3	6.9	-10.3	-41.4
北陸信越	-31.4	-31.4	-37.1	-42.9	-37.1	-25.7	-20.0	-22.9	3.0	6.1	-51.4	-37.1
関東	-22.7	-22.9	-24.7	-28.4	-19.1	-23.7	-21.6	-18.8	9.4	5.3	-26.0	-26.3
東海	14.3	-6.3	-4.1	-14.6	-2.1	-19.1	-19.6	-13.3	12.2	10.4	-2.0	-22.9
近畿	-31.7	-22.0	-48.8	-29.3	-30.0	-17.5	-17.1	-9.8	12.2	7.3	-51.2	-41.5
中国	-57.1	-14.3	-47.6	-19.0	-28.6	-14.3	-33.3	-28.6	-9.5	0.0	-47.6	-28.6
四国	-33.3	-33.3	-30.0	-33.3	-13.3	-13.3	-13.3	-13.3	-13.3	-10.0	-26.7	-40.0
九州	-13.8	-10.3	-13.8	-13.8	-20.7	-24.1	-10.3	-13.8	10.3	13.8	-31.0	-24.1

# 業況D I（前年同月比）の推移（全国）

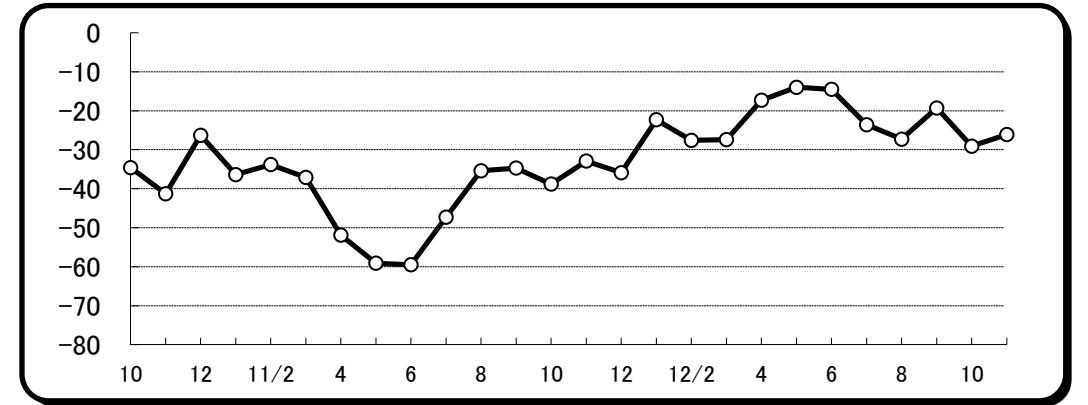
## 建設業



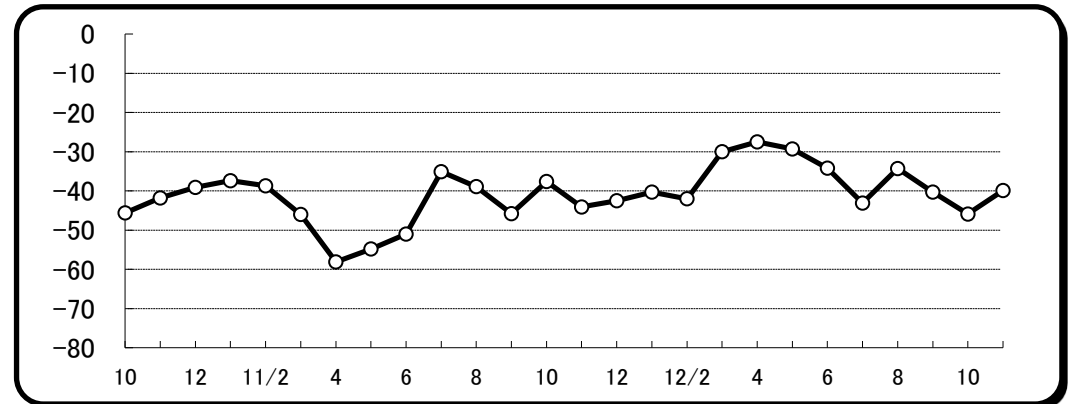
## 製造業



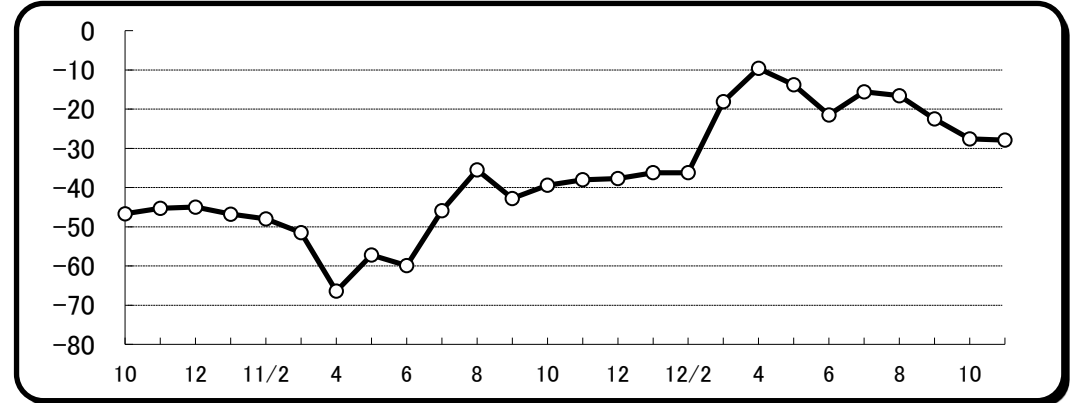
## 卸売業



## 小売業



## サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみても、全業種で悪化した。

○電気工事業からは、「域内の自動車メーカーや関連企業が設備投資を抑制しており、自社の受注が減少」とのコメント。水産食品製造業からは、「主力商品の原材料であるイカが不漁だったことから、価格が上昇。生産コストが高くなり、収益を圧迫」とのコメント。建築材料卸売業からは、「取引先工務店の受注単価が低迷。その影響を受けて、自社でも利益が減少」との声、旅館業からは、「LCCなど、国内外の航空路線が拡大しているものの、市街地滞在者が多く、郊外の観光地を訪れる客は少ない」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、サービス業は改善、その他の4業種は悪化する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 18.3	▲ 25.3	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 18.1	▲ 28.2	▲ 37.6
売上	▲ 4.8	▲ 18.4	▲ 10.4	▲ 16.1	▲ 19.0	▲ 22.7	▲ 28.7
採算	▲ 6.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 15.9	▲ 18.1	▲ 22.1	▲ 30.2
資金繰り	▲ 3.7	▲ 8.0	▲ 1.3	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 6.7	▲ 10.7
仕入単価	▲ 12.2	▲ 12.6	▲ 7.8	▲ 17.0	▲ 18.3	▲ 16.1	▲ 19.5
従業員	2.4	▲ 2.3	1.3	▲ 1.8	5.2	8.7	▲ 1.3

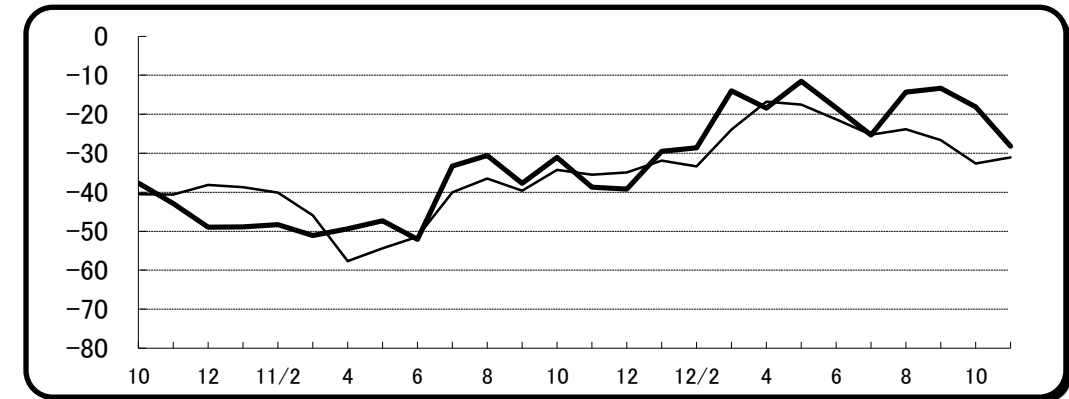
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	0.0	▲ 21.4	▲ 15.4	▲ 15.0	▲ 8.0	▲ 29.0	▲ 41.9
製造	▲ 7.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 4.8	▲ 14.3	▲ 19.2	▲ 53.8
卸売	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 11.1	7.1	0.0	▲ 26.1	▲ 30.4
小売	▲ 47.6	▲ 36.0	▲ 31.6	▲ 28.6	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 61.5
サービス	▲ 8.3	▲ 20.8	10.0	▲ 16.2	▲ 18.2	▲ 20.9	▲ 14.0

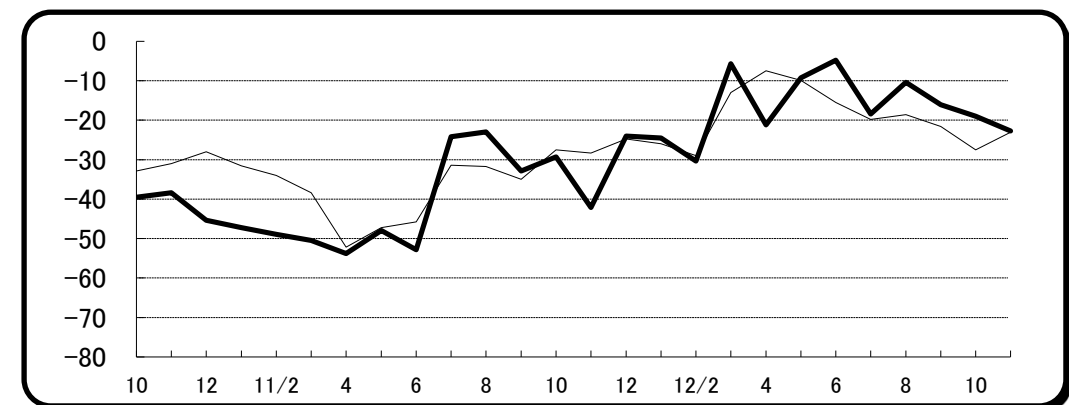
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道    —— 全国

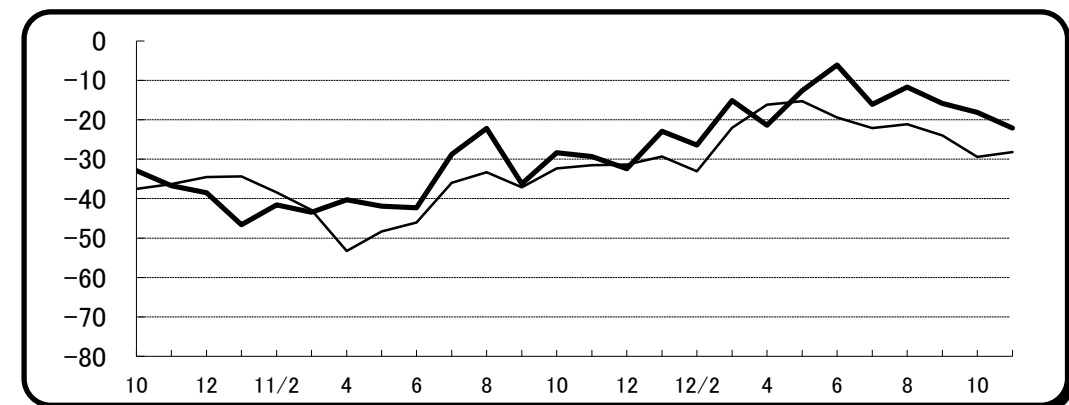
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、製造業、卸売業で悪化、その他の3業種で改善した。

○一般工事業からは、「工事の発注は依然として多いが、生コン等の建築資材や技能工の不足が続いており、受注したくても難しい状況」とのコメント。織物外衣製造業からは、「羽毛や寝具関連の受注が増加しているものの、単価を上げられず売上が伸びない」とのコメント。百貨店からは、「大手小売店の進出計画があり、自社も含めた地元への影響を懸念」との声、旅館業からは、「風評被害が続いており、県外からの団体客が戻ってこない。また、廃業した旅館の建物が残っており、地域の課題となっている」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業、サービス業で悪化、小売業で横ばい、その他の2業種で改善の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 9.1	▲ 3.3	▲ 13.4	▲ 4.8	▲ 21.0	▲ 20.7	▲ 26.1
売上	▲ 1.7	▲ 11.5	▲ 6.2	2.9	▲ 18.5	▲ 20.7	▲ 25.2
採算	▲ 11.6	▲ 16.4	▲ 11.5	▲ 6.7	▲ 27.7	▲ 28.8	▲ 28.8
資金繰り	▲ 2.5	0.0	▲ 1.8	▲ 6.8	▲ 7.6	▲ 5.4	▲ 14.5
仕入単価	▲ 32.5	▲ 18.9	▲ 27.4	▲ 29.8	▲ 30.3	▲ 24.3	▲ 20.7
従業員	6.6	13.9	8.0	6.7	5.0	7.2	8.1

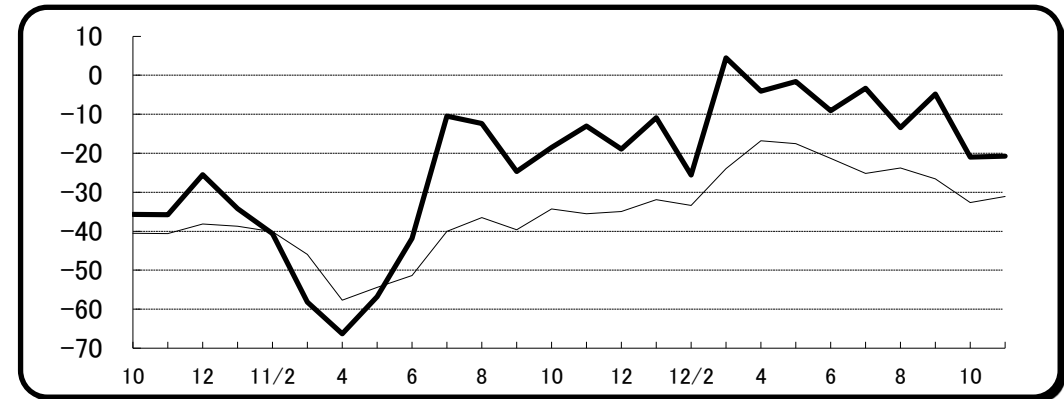
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	8.3	8.3	▲ 4.5	4.5	▲ 4.5	10.0	0.0
製造	▲ 6.5	▲ 3.7	▲ 18.5	▲ 13.0	▲ 30.0	▲ 52.0	▲ 36.0
卸売	0.0	▲ 30.0	▲ 44.4	12.5	0.0	▲ 42.9	▲ 28.6
小売	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 18.5	▲ 19.2	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 20.0
サービス	▲ 18.5	12.9	0.0	4.0	▲ 21.4	▲ 10.3	▲ 41.4

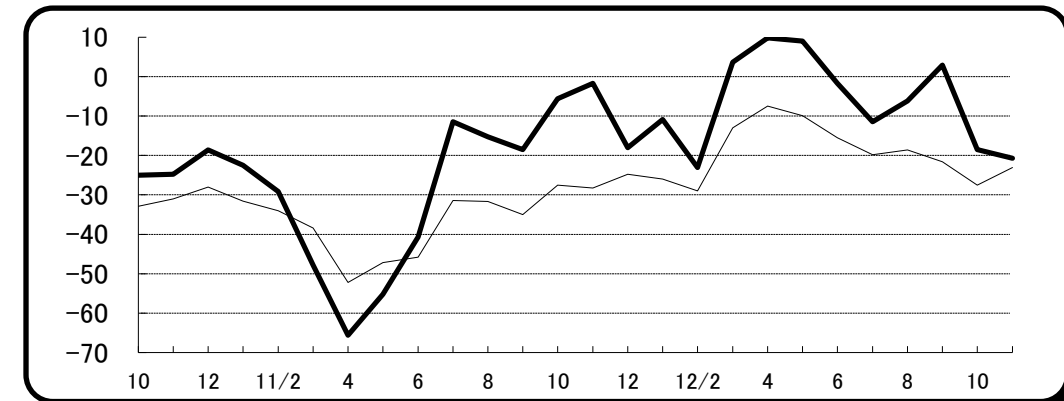
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北      —— 全国

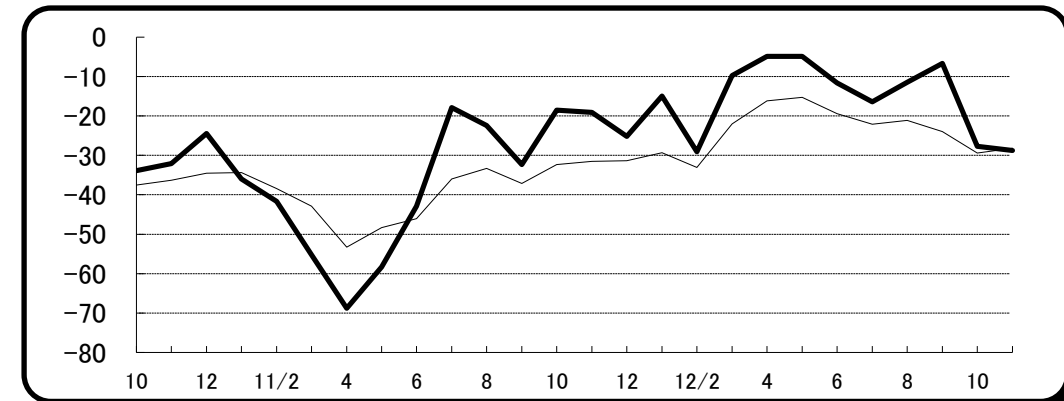
業況



売上



採算





【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみると、小売業でマイナス幅が縮小、その他の4業種でマイナス幅が拡大した。

○一般工事業からは、「地盤調査を行うオペレーター等の人材が東北に流れており、人材不足から受注が困難になっている」とのコメント。プレス加工業からは、「取引先から定例的な発注はあるものの、新規案件が少なく、長期の見通しが立たない」とのコメント、商店街からは、「冬物商品が好調。また、近隣地域でのイベント開催が多かったことから、商店街の利用客数が伸びた」とのコメント。飲食店からは、「飲食店組合で、プレミアム飲食券を作成、販売。年末年始の需要喚起効果に期待している」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ横ばいとなる見込み。産業別にみると、建設業、小売業は悪化、その他の3業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 24.2	▲ 21.8	▲ 19.1	▲ 25.8	▲ 34.6	▲ 39.0	▲ 39.0
売上	▲ 24.2	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 24.2	▲ 27.7	▲ 29.8	▲ 31.2
採算	▲ 24.8	▲ 17.3	▲ 20.3	▲ 26.6	▲ 29.7	▲ 33.3	▲ 39.0
資金繰り	▲ 15.9	▲ 15.6	▲ 15.2	▲ 19.7	▲ 23.3	▲ 26.2	▲ 22.1
仕入単価	▲ 21.6	▲ 15.5	▲ 17.6	▲ 14.1	▲ 20.3	▲ 17.0	▲ 17.0
従業員	▲ 3.3	▲ 2.6	▲ 0.7	▲ 3.9	▲ 4.4	▲ 2.2	▲ 3.6

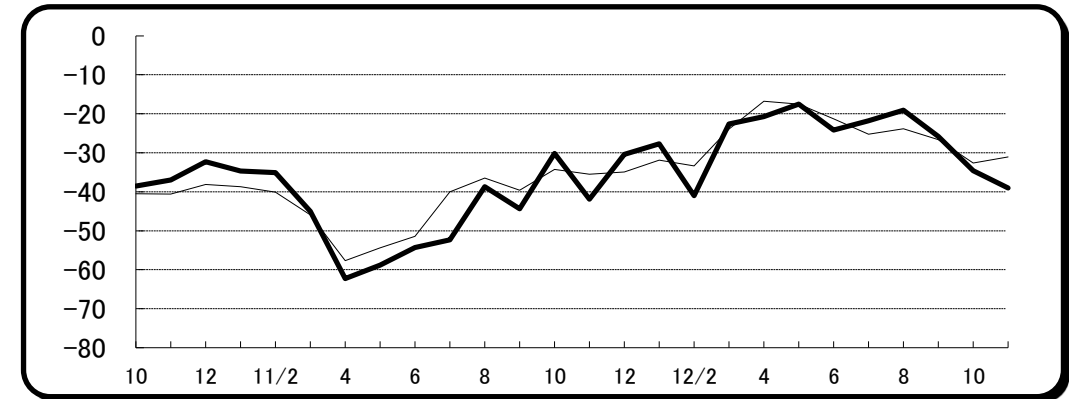
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 37.5	▲ 26.7	▲ 21.9	▲ 24.1	▲ 20.6	▲ 31.0	▲ 48.3
製造	▲ 8.8	▲ 22.6	▲ 11.8	▲ 23.3	▲ 31.3	▲ 46.4	▲ 35.7
卸売	▲ 15.8	▲ 27.8	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 18.8
小売	▲ 22.9	▲ 23.5	▲ 15.6	▲ 21.4	▲ 44.4	▲ 33.3	▲ 45.5
サービス	▲ 33.3	▲ 14.0	▲ 26.5	▲ 25.0	▲ 46.2	▲ 51.4	▲ 37.1

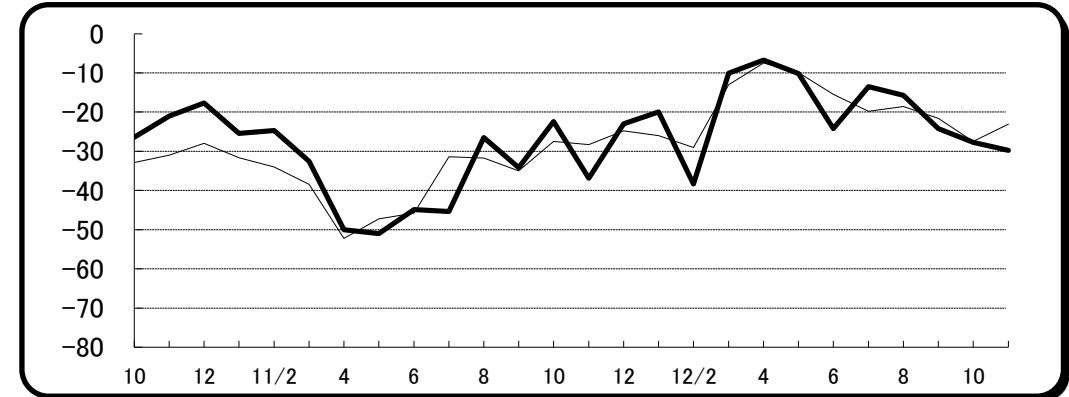
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越    —— 全国

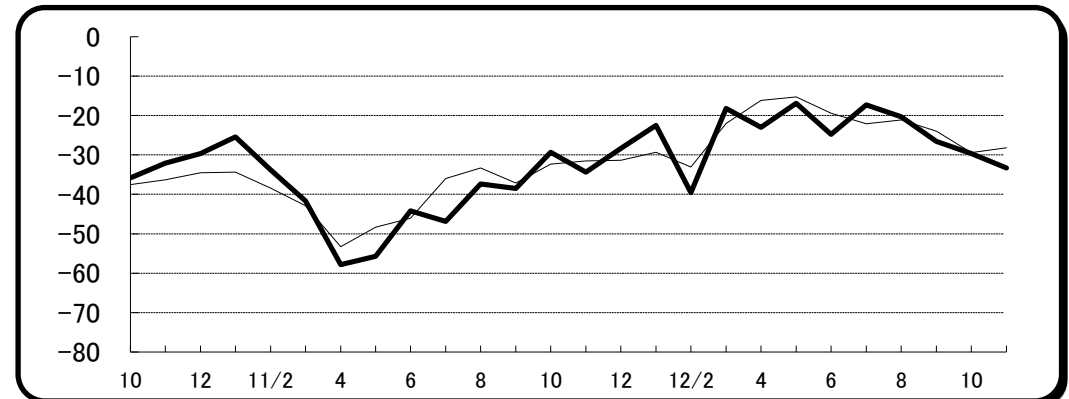
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅は縮小。産業別にみると、製造業、サービス業はほぼ横ばい、その他の3業種で改善した。

○家具製造業からは、「中国の模倣品や円高、消費低迷など経営環境は厳しい。今後は、介護関係者のニーズを取り入れた介護用・高齢者用の商品開発など新規市場の開拓にも注力する」との声、一般機械製造業からは、「設備投資意欲が低く、新規受注は少ない。消耗品や交換品等の供給で売上を維持している状況が続いており、好転は期待できない」とのコメント。百貨店からは、「お歳暮商戦が本格化。法人向けの商品は伸び悩んでいるものの、パーソナルギフトは堅調に推移」とのコメント。倉庫業からは、「日中関係の悪化に伴い、自動車メーカーが減産対応をとったことから、コンテナ取扱量も減少」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、サービス業はほぼ横ばい、その他の4業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 19.6	▲ 25.9	▲ 25.3	▲ 28.1	▲ 32.0	▲ 25.1	▲ 35.8
売上	▲ 16.0	▲ 18.3	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 30.1	▲ 20.1	▲ 26.4
採算	▲ 24.0	▲ 22.5	▲ 24.0	▲ 25.8	▲ 31.8	▲ 26.5	▲ 30.1
資金繰り	▲ 12.8	▲ 12.9	▲ 13.5	▲ 16.0	▲ 15.5	▲ 16.7	▲ 23.0
仕入単価	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 16.8	▲ 20.9	▲ 16.9	▲ 14.6	▲ 18.1
従業員	1.7	▲ 0.4	3.0	4.0	▲ 1.4	1.5	1.0

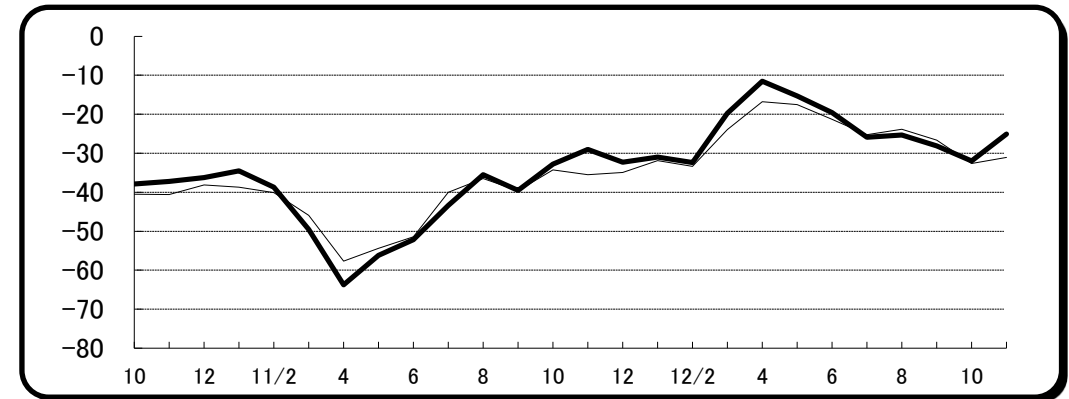
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 13.7	▲ 23.1	▲ 18.7	▲ 10.3	▲ 24.6	▲ 11.9	▲ 22.4
製造	▲ 24.0	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 37.4	▲ 30.8	▲ 31.6	▲ 48.4
卸売	▲ 1.6	▲ 18.0	▲ 27.9	▲ 19.6	▲ 46.3	▲ 21.4	▲ 37.5
小売	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 31.5	▲ 42.4	▲ 36.3	▲ 29.3	▲ 41.3
サービス	▲ 24.3	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.6	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 26.3

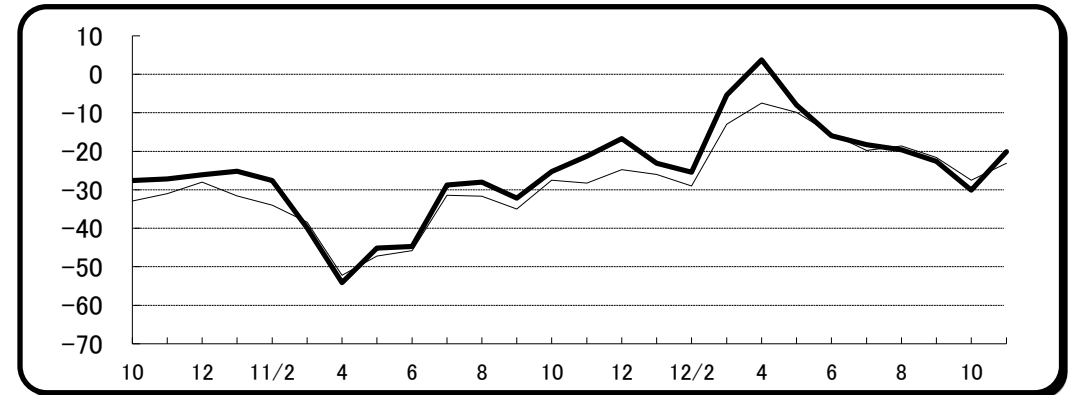
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東      —— 全国

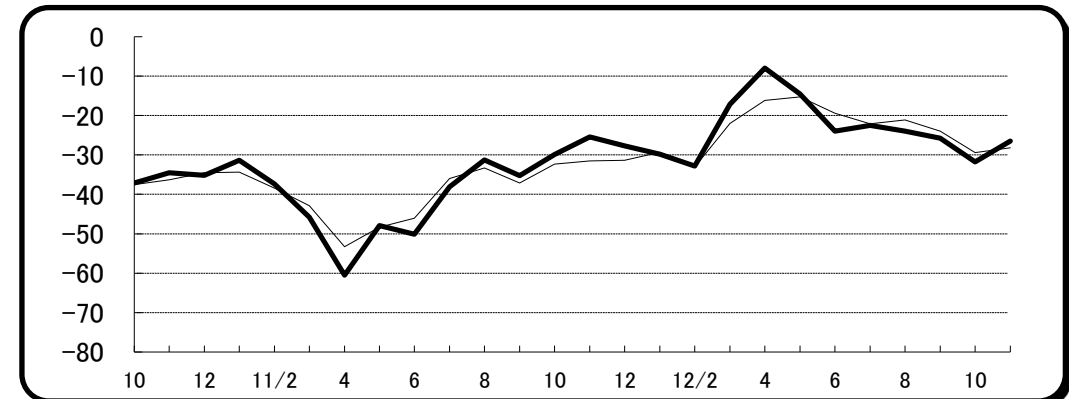
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、小売業、サービス業は悪化、その他の3業種は改善した。

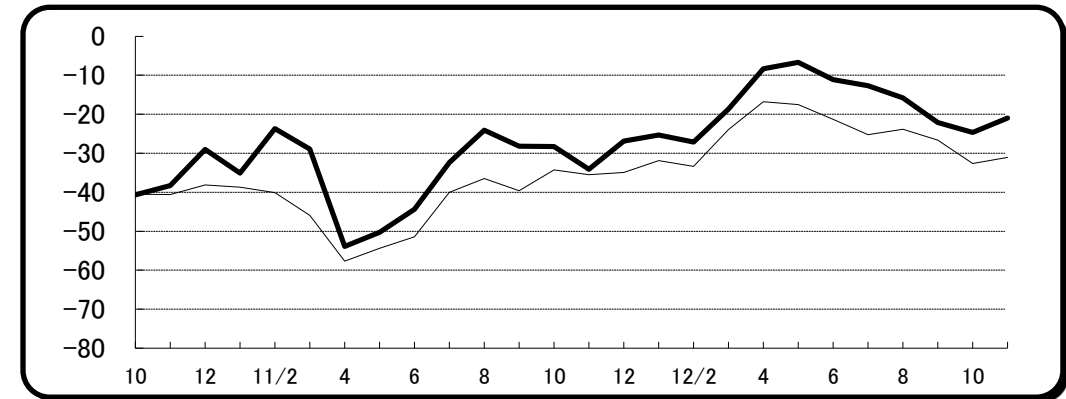
○一般工事業からは、「太陽光発電の特需により、パネル等の仕入が困難になっている」とのコメント。プラスチック製品製造業からは、「前年同月に比べ、原材料価格が下落しており、採算が改善。業況も順調に推移している」とのコメント。自動車部品製造業からは、「日中関係の悪化に伴い、中国の日系自動車メーカーからの発注が激減。国内でも、取引先の減産対応により発注が減っている」との声、総合スーパーからは、「消費マインドが冷え込んでおり、売上が伸びない。価格の見直しや品揃えの拡充により来店者数の増加を図る」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみても、全業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

——— 東海      —— 全国

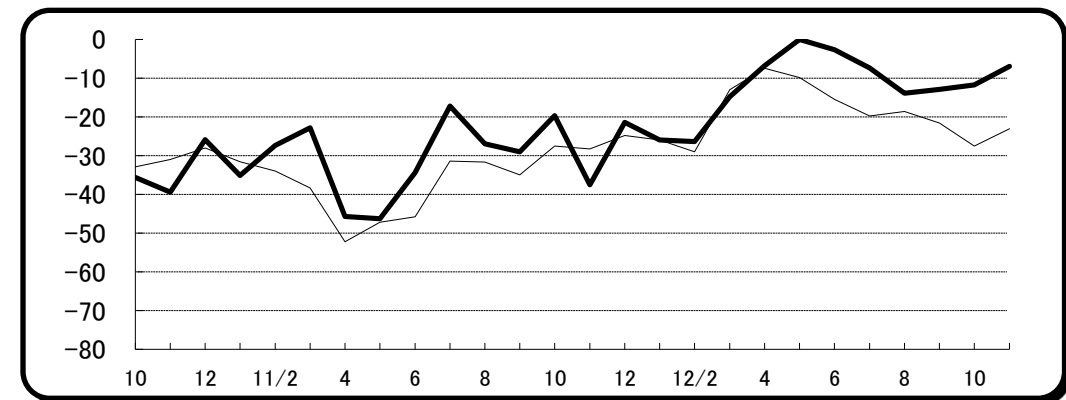
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業 況	▲ 11.1	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.1	▲ 24.7	▲ 21.0	▲ 30.6
売 上	▲ 2.7	▲ 7.4	▲ 13.9	▲ 12.9	▲ 11.8	▲ 7.0	▲ 18.8
採 算	▲ 6.3	▲ 15.3	▲ 12.8	▲ 17.6	▲ 17.2	▲ 19.8	▲ 27.6
資金繰り	▲ 12.4	▲ 10.6	▲ 5.5	▲ 9.4	▲ 12.0	▲ 13.7	▲ 20.9
仕入単価	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 8.6	▲ 18.0	▲ 14.8	▲ 12.0	▲ 16.9
従 業 員	3.7	2.4	3.4	▲ 2.1	3.7	4.3	4.3

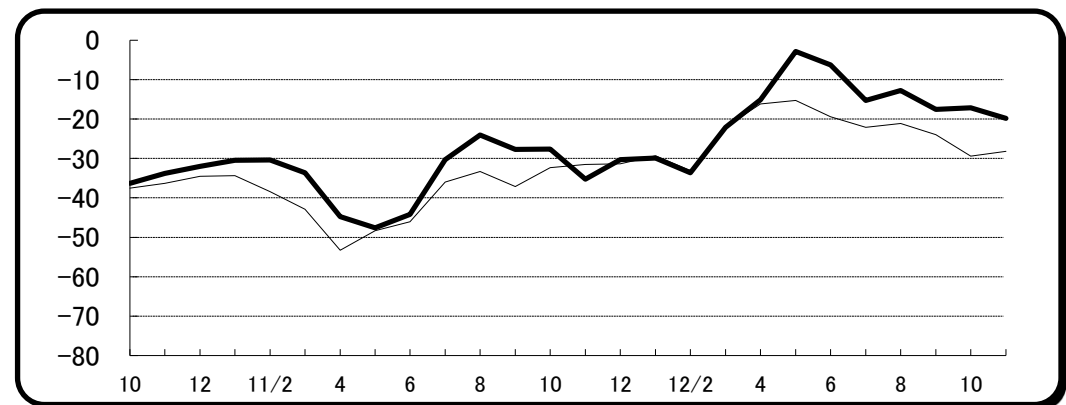
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建 設	▲ 17.4	▲ 35.7	▲ 14.3	▲ 3.7	▲ 16.7	▲ 3.8	▲ 7.7
製 造	5.2	4.7	▲ 5.7	▲ 20.3	▲ 33.3	▲ 25.4	▲ 30.5
卸 売	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 5.9	▲ 23.5	▲ 15.8	▲ 26.3
小 売	▲ 42.1	▲ 42.5	▲ 40.5	▲ 50.0	▲ 47.4	▲ 57.6	▲ 61.8
サービス	0.0	▲ 1.8	▲ 8.9	▲ 17.3	2.3	▲ 2.0	▲ 22.9

採 算



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、製造業、小売業でマイナス幅が縮小、その他の3業種で悪化した。

○瓦製造業からは、「年末までの受注は好調なもの、年明け以降は不透明。今後、自社製品の海外輸出を進める予定」との声、農産物卸売業からは、「小売店の競争激化に伴い、取引先の小売店が業績不振により閉店。自社の売上にも響いている」とコメント。食料品スーパーからは、「自社店舗の近くに同業他社が新規出店。オーバーストアになっており、顧客争奪・価格競争が激化」とのコメント。百貨店からは、「婦人服を中心に、冬物衣料が好調。来店客数も順調に推移している」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみても、全業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 30.3	▲ 37.6	▲ 18.9	▲ 27.1	▲ 42.3	▲ 41.1	▲ 33.5
売上	▲ 17.2	▲ 31.9	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 36.5	▲ 31.7	▲ 23.5
採算	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 38.9	▲ 35.0	▲ 26.2
資金繰り	▲ 12.2	▲ 18.9	▲ 3.6	▲ 12.1	▲ 18.0	▲ 24.9	▲ 15.6
仕入単価	▲ 18.1	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 15.6	▲ 18.3	▲ 13.1	▲ 4.4
従業員	▲ 2.9	▲ 1.2	1.2	1.1	▲ 0.5	▲ 3.3	1.1

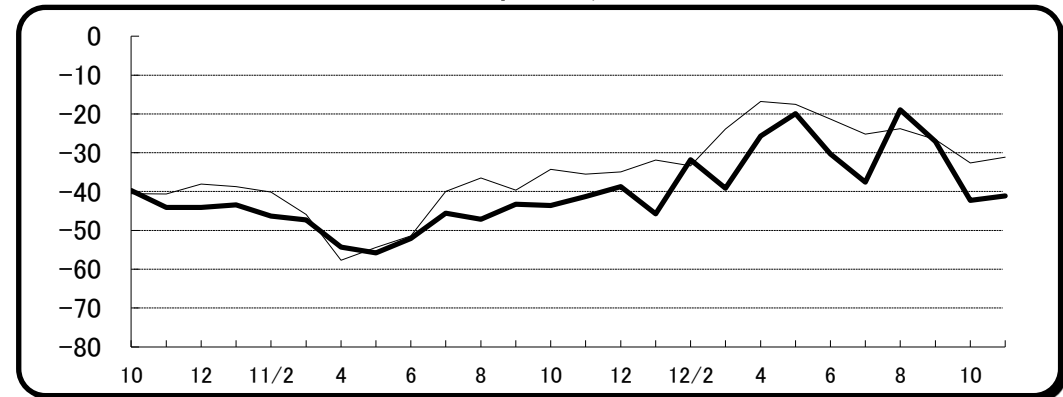
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 13.0	▲ 17.4	▲ 29.2	▲ 20.8
製造	▲ 11.3	▲ 25.5	▲ 7.8	▲ 20.8	▲ 45.1	▲ 41.8	▲ 38.2
卸売	▲ 21.1	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 20.0	▲ 6.7	▲ 30.0	▲ 20.0
小売	▲ 47.7	▲ 54.5	▲ 32.5	▲ 36.4	▲ 59.2	▲ 42.2	▲ 33.3
サービス	▲ 43.9	▲ 45.0	▲ 13.2	▲ 37.8	▲ 45.5	▲ 51.2	▲ 41.5

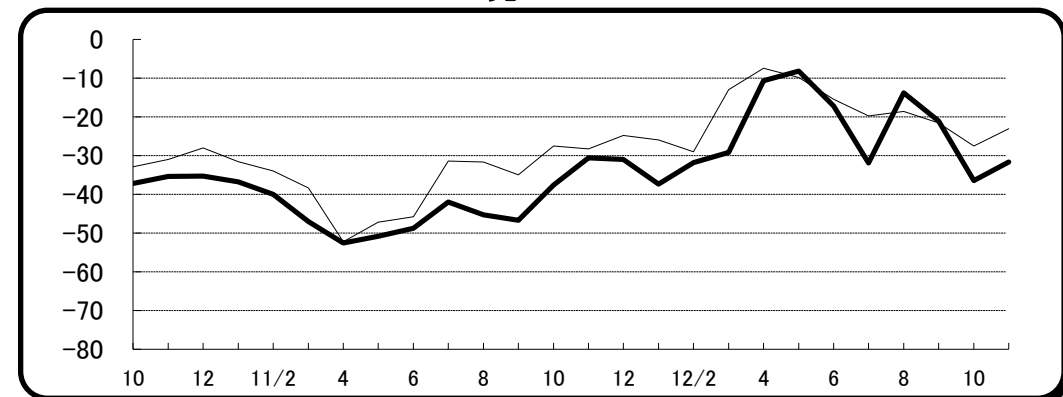
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

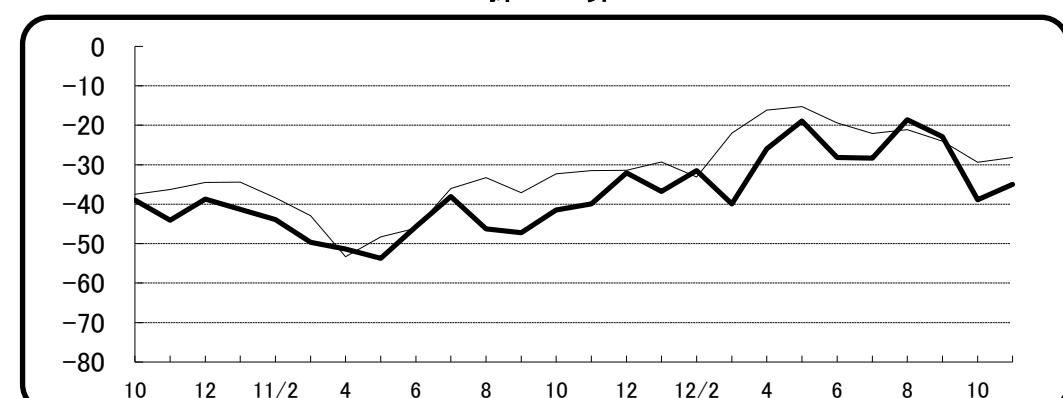
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、製造業、サービス業でマイナス幅が拡大したものの、その他の3業種でマイナス幅が縮小した。

○一般工事業からは、「消費税増税前の駆け込みが徐々に動き出しているように感じる」とのコメント。造船業からは、「取引先からの値下げ圧力が強まっており、従業員の賃金カットや希望退職の募集を検討せざるをえない」とのコメント。煉瓦製造業からは、「主要取引先である鉄鋼メーカーの不振が続いており、自社でも減産対応をとっている」との声、旅館業からは、「企業などの団体利用が減少。シングルルームの増設など、個人客をターゲットにした方針へのシフトを検討」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業は横ばい、その他の4業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 27.5	▲ 31.7	▲ 50.0	▲ 41.2	▲ 52.3	▲ 50.0	▲ 35.4
売上	▲ 26.5	▲ 28.7	▲ 35.6	▲ 36.3	▲ 45.9	▲ 43.3	▲ 26.8
採算	▲ 20.8	▲ 28.7	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 36.9	▲ 34.0	▲ 23.7
資金繰り	▲ 16.8	▲ 17.3	▲ 19.1	▲ 19.2	▲ 26.4	▲ 32.3	▲ 27.1
仕入単価	▲ 11.9	▲ 16.0	▲ 3.4	▲ 8.9	▲ 13.0	▲ 6.3	▲ 8.3
従業員	▲ 10.8	▲ 10.9	▲ 6.7	▲ 8.8	▲ 14.4	▲ 19.6	▲ 10.3

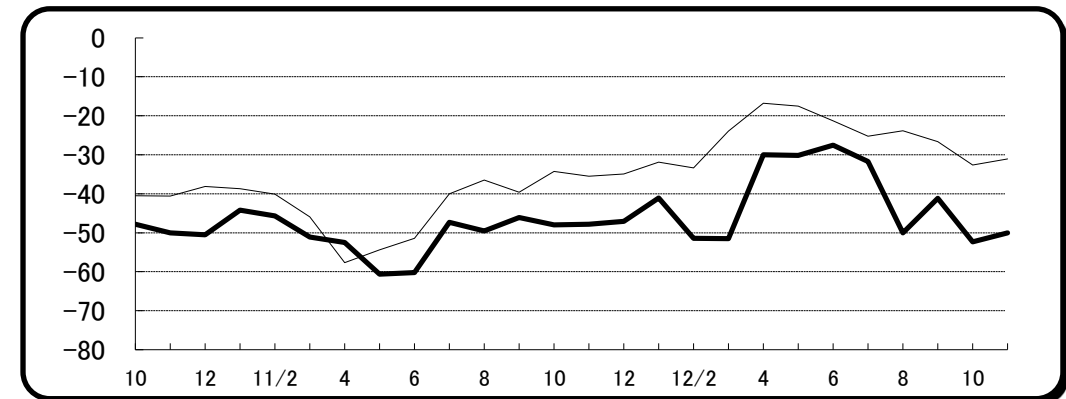
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	0.0	▲ 27.3	▲ 11.1	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 9.1	▲ 9.1
製造	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 51.9	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 58.6	▲ 37.9
卸売	▲ 42.9	▲ 40.0	▲ 53.8	▲ 69.2	▲ 56.3	▲ 42.9	▲ 35.7
小売	▲ 48.0	▲ 65.2	▲ 75.0	▲ 60.0	▲ 76.0	▲ 66.7	▲ 52.4
サービス	▲ 20.0	▲ 10.5	▲ 29.4	▲ 25.0	▲ 36.4	▲ 47.6	▲ 28.6

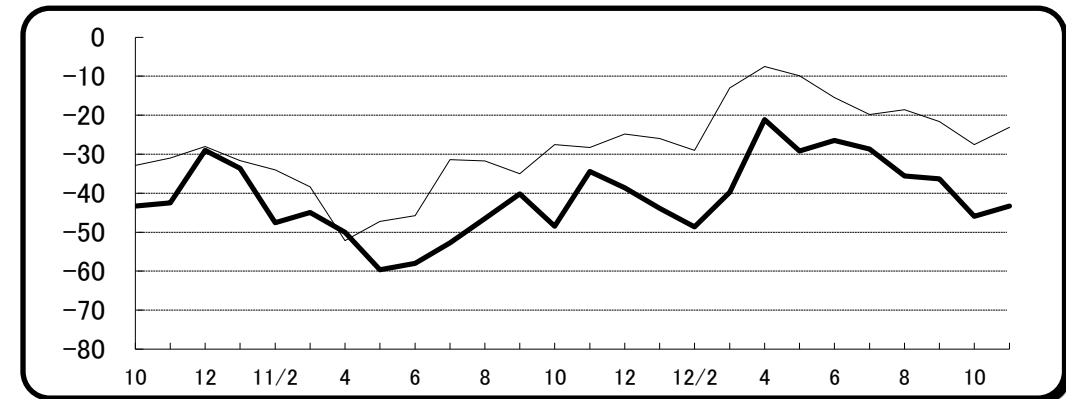
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国      —— 全国

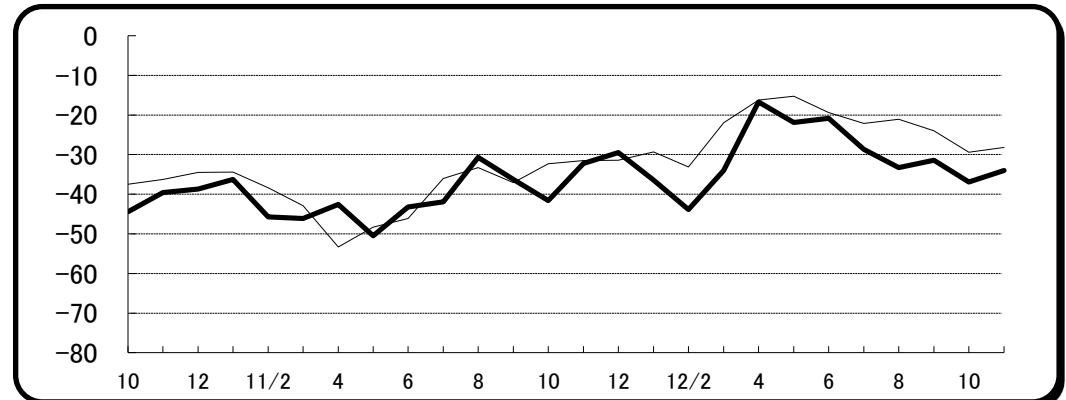
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、その他の3業種で拡大した。

○建築工事業からは、「技能工が不足しており、工期の遅れが発生している」とのコメント。食料品卸売業からは、「米や鶏卵などの価格が上昇しているものの、価格転嫁が進まず、利益が上がらない」との声、飲食店からは、「近隣地域でコンビニの出店が加速。飲食店を利用する客が減少している」とのコメント。旅館業からは、「中国人・韓国人等の観光客が減少しており、稼働率も低迷」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、サービス業で悪化、その他の4業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
業況	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 29.2	▲ 40.4	▲ 40.0	▲ 40.2	▲ 34.2
売上	▲ 26.4	▲ 32.5	▲ 28.3	▲ 34.9	▲ 37.3	▲ 31.6	▲ 23.1
採算	▲ 24.0	▲ 30.8	▲ 27.4	▲ 36.7	▲ 32.7	▲ 35.9	▲ 31.9
資金繰り	▲ 18.2	▲ 15.5	▲ 18.6	▲ 13.8	▲ 15.5	▲ 17.1	▲ 13.7
仕入単価	▲ 24.0	▲ 23.1	▲ 22.1	▲ 22.9	▲ 23.6	▲ 21.4	▲ 19.7
従業員	▲ 3.3	▲ 6.8	▲ 0.9	0.0	6.4	▲ 4.3	▲ 0.9

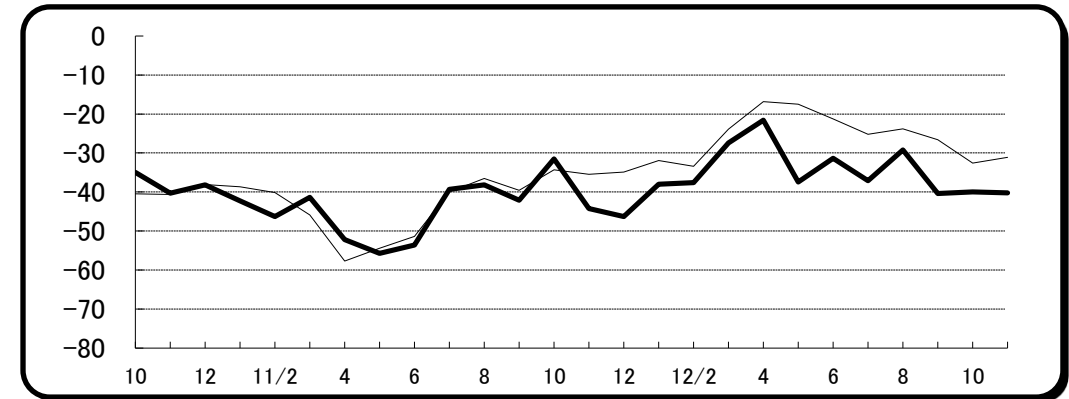
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
建設	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 36.4	▲ 22.7
製造	▲ 17.9	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 36.0	▲ 29.6	▲ 42.9	▲ 25.0
卸売	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 45.5	▲ 36.4
小売	▲ 43.3	▲ 50.0	▲ 40.7	▲ 55.6	▲ 66.7	▲ 53.8	▲ 46.2
サービス	▲ 16.7	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 29.6	▲ 32.1	▲ 26.7	▲ 40.0

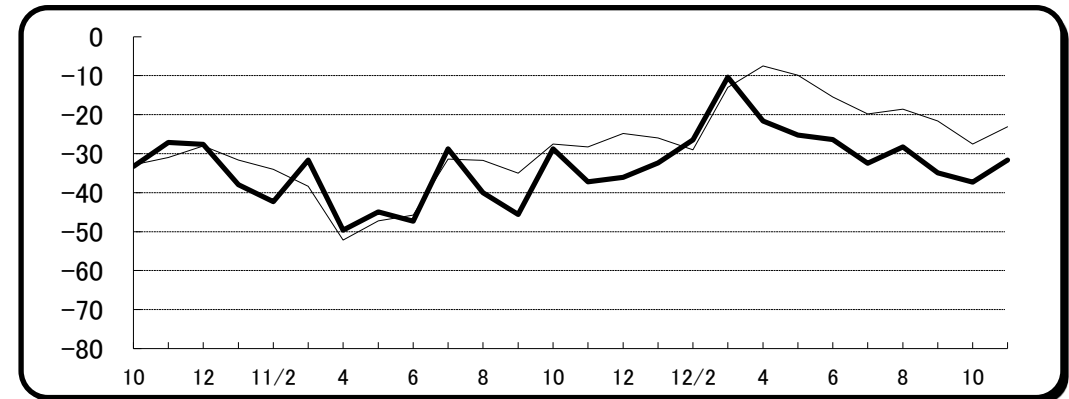
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

—— 四国      —— 全国

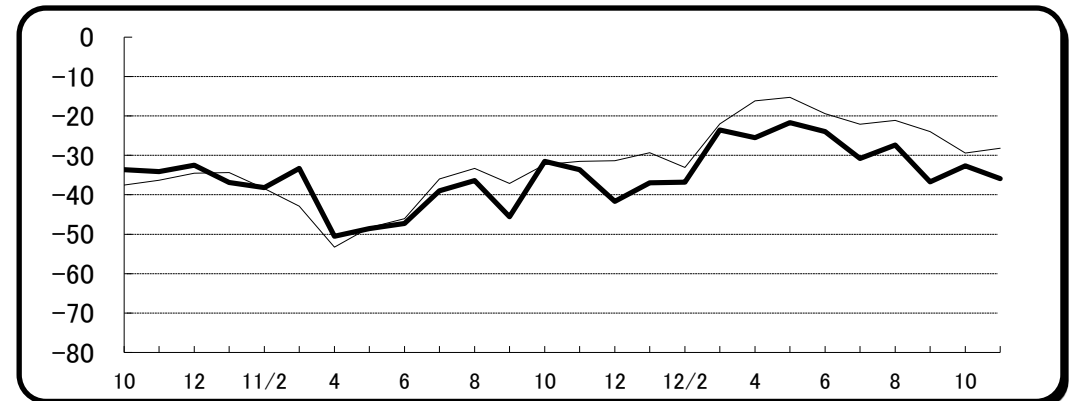
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業はマイナス幅が縮小、卸売業、サービス業はほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。

○製材業からは、「災害復旧工事が進んでいるため、資材が不足し始めている」とのコメント。調味料製造業からは、「穀物価格に値下がり動きがあるものの、依然として採算は悪く、今後の価格動向も不安」とのコメント。百貨店からは、「中国人観光客の減少により、土産品などの売上低迷が続いている」との声、飲食店からは、「年末に向けて若い人材を採用したいものの、応募が少ない。応募があっても中年層が多い」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業は悪化、その他の4業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲25.2	▲35.4	▲34.1	▲35.4	▲30.9	▲31.0	▲19.4
売上	▲19.9	▲26.7	▲27.4	▲30.8	▲21.3	▲15.5	▲10.1
採算	▲15.2	▲25.2	▲27.4	▲31.0	▲27.5	▲25.6	▲19.4
資金繰り	▲16.0	▲16.3	▲18.5	▲21.9	▲18.2	▲15.6	▲14.1
仕入単価	▲20.0	▲17.1	▲16.3	▲22.5	▲20.9	▲14.0	▲11.6
従業員	▲2.6	▲3.8	▲0.7	▲6.2	▲2.7	2.3	3.1

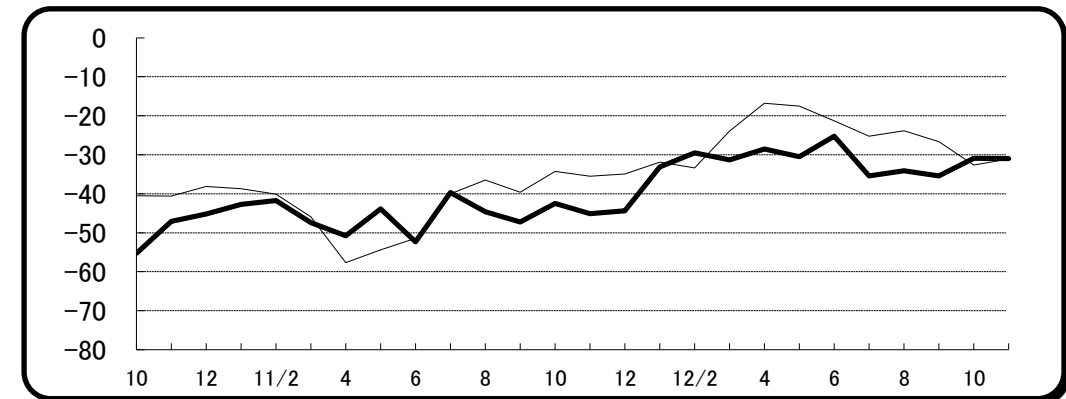
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲42.9	▲72.2	▲31.8	▲36.8	▲39.1	▲19.0	▲38.1
製造	▲18.2	▲16.1	▲33.3	▲44.4	▲28.1	▲44.4	▲11.1
卸売	0.0	▲11.8	▲22.2	▲10.0	▲19.0	▲18.2	9.1
小売	▲35.9	▲56.3	▲35.3	▲40.6	▲34.2	▲36.7	▲30.0
サービス	▲23.7	▲25.0	▲42.9	▲37.5	▲31.4	▲31.0	▲24.1

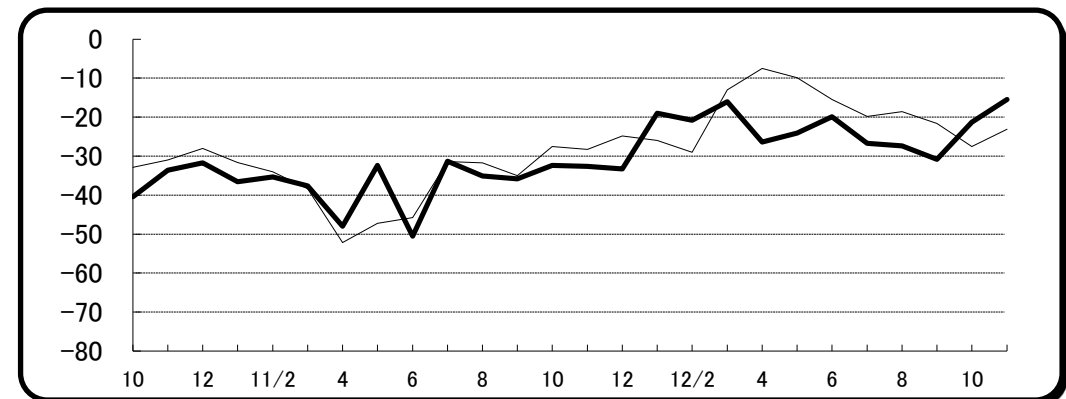
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

